

# 令和6年度 第1回 八潮市環境審議会 議事録

日時 令和6年5月31日（金）午後3時00分～午後4時45分

場所 八潮市役所 4階 4-2会議室

## 1 開 会

## 2 あいさつ（大山市長）

## 3 諮 問

（1）第3次八潮市環境基本計画について

## 4 議 事

（1）第3次八潮市環境基本計画策定に伴う基礎調査報告書について

内容は下記のとおり

事務局 第3次八潮市環境基本計画策定に伴う基礎調査報告書について、資料に基づき説明

委員 ・説明の中で、P.85 までで影響評価を行っていると述べていたかと思うが、この影響評価は基礎調査の中で行っているものなのか。

事務局 →基礎調査報告書 P.82 にて、気候変動における影響評価の表があり、項目ごとに重大性・緊急性・確信度として設定し評価を行っている。

委員 ・国の評価と書いてあるが、八潮市の評価ということか。

事務局 →国のほうで項目ごとに評価を行っており、その中から八潮市に関係する項目を抜粋し、表でとりまとめているもの。

委員 ・P.5 の削減目標は、国の目標か八潮市の目標か、それとも独自の目標か。

事務局 →国の目標である。

委員 ・P.54 のBAU 排出量について、2030 年度が2021 年度より削減率が下がってしまっている要因と根拠を教えてほしい。

委員 ・データは何を使っているか、どのように計算したかをはっきりさせることが重要だと思う。例えば人口では、2025 年度から減少するとされているが、現在増加が進んでいる八潮市が2025 年を迎えたら減少するとは思えない。そのため、後にデータの比較ができるよう、このような考え方で計算するところになりますというものが、10 年後に必要なようになってくると思う。

事務局 →削減率の減少について、人口が2025 年度までは増加し、それ以降は減少する推計があることと、業務その他部門における生産品目額の増加が主な要因となっている。また、P.52 にどのようなデータを使用して推計をしているかをまとめており、P.53 に2030 年度と2050 年度の推計値の変化率をまとめている。

人口の推計については、八潮市の人口ビジョンで設定されている目標値をベースに計算をしており、現状の推計値としている。今後の人口増加及び総合計画

の見直しにより、目標値の変更が生じると思われるため、中間見直しの際に検証したいと思う。

委員 ・2021年度は2013年度より排出量が16.6%減少しているが、これは国や県で出しているものか、八潮市独自の推計なのか。

事務局 →2013年度から2021年度の数值は埼玉県が算出しているもので、埼玉県内の市町村のデータも公表がされている。

委員 ・八潮市の排出量は、ほかの市町村と比較して努力しているほうなのか。

事務局 →ほかの市町村との比較はできていないため、今後、比較をしていきたい。

## (2) 第3次八潮市環境基本計画（骨子案）について

審議内容は下記のとおり

事務局 第3次八潮市環境基本計画（骨子案）について、資料に基づき説明

委員 ・P.6の環境の課題について、良くとりまとめられていると思うが、ここでは具体的に課題なくすための取組等は書かなくて良いのか。例えばごみ袋の有料化をするなど、具体的な取組を書かないほうが良いのか。

事務局 →環境の課題については、施策を考えていく段階のものとしてまとめてられており、具体的な取組は施策へ、例えば廃プラの分別を検討するなどの具体性は出す想定でいる。今回はあくまでも骨子案のため、詳細については計画案の際に掲載をする。

委員 ・P.12に2030年度の削減目標が掲げられているが、部門別の削減目標について、なぜ部門によって削減量にばらつきがあるのか、均等ではないのか。根拠があれば教えてほしい。

事務局 →2030年度の削減量の積み上げに関しては、国で地球温暖化対策計画にて46%削減と目標を立て、項目ごとにこのような対策をすればこのくらい削減できると想定しており、それを八潮市で行うとどのくらい削減できるかということ推計している。基礎調査報告書のP.56より削減対策等を記載しており、2030年度では、電気の排出係数の低減や国等との連携、廃棄物発生抑制を設定し、P.57から細かくどのような対策を行って、CO<sub>2</sub>とエネルギー量が削減できるかを示している。なお、試算上は最大48.1%の削減となるが、なかなかすべての対策を最大限行うことは難しいため、県や国と整合を取った46%削減を市の目標として立てたいと思う。

委員 ・計画の構成の第9章計画の推進は、今まで2・3頁で終わっており、今回は何を行うか、取組をどう行うか具体的に記載していただかないと46%の削減は不可能かと思うが、どうか。

事務局 →第9章については、役所のほうの環境基本計画を進めていくための庁内体制となっているため、今まで通りの内容に近いものを想定しているが、改めて検討する。なお、行政としての具体的な目標値や取組については、第7章の事務

事業編に掲載することを想定している。市全体の地球温暖化に関する具体的な取組は、第6章の区域施策編に掲載し、この部分に各企業との連携に関する内容を持ってくるか、第9章へ持って来るか、章立てを検討したいと思う。

委員 ・環境問題で企業が関わっていることが、骨子案では見えにくく、SDGs で片付けられてしまっていると思う。企業の環境問題への参加に関して、協働的な取組など、もっと表現できないかと思っているが、どうか。

事務局 →検討をしたいと思う。

委員 ・P.10 の指標である、公共施設における省エネ機器の導入か所について、「か所」は単位だと思っているので、一度確認をお願いしたい。

事務局 →確認をしたいと思う。

委員 ・説明の中で述べていた八潮を通過する貨物車両のCO<sub>2</sub>について、どのように評価するのか。貨物車両を半減もしくはEV化を進めるということなのか。

事務局 →市が取り組むことなのかはわからないが、EV化や燃費をよくすることなど、国のほうの施策として考えられるため、市として啓発等を行えるが、直接的に通過する交通に関して、市ができることは少ないかと思われる。

委員 ・環境を意識することや環境を守ることが、エネルギーの削減に関連付けるような流れがあると計画としてより良いと思う。

事務局 →今回4つの計画の策定となるが、現在考えているのが区域施策編ということで、八潮市の温室効果ガス排出量の削減目標を決め、施策を考えていくとともに、従来の環境基本計画では、市民からの要望が多い公園を増やすことなど、市の関係部署と協議を行い、施策と目標を決めていきたいと思う。

4 その他

5 閉会